

出席委員 ◎櫻井治男（会長） 小川斌夫（副会長） 石田美和 太田浩司 垣崎まゆみ 杉田英男
竜田和代 春木千富 山崎智 山本はるみ

欠席委員 奥田良平 奥野長衛 田村昭十郎 中村基記 西浜隆 西山裕司 前田世利子 松月広子
（敬称略）

1 諮問「新市の一体感の醸成について」に対する答申について

（以下、会長の進行◎、委員の意見◇、事務局の説明○）

◎これまでの経緯について説明する。

平成18年に伊勢地区の地域審議会が設置され、市長より「新市の一体感の醸成について」諮問がされた。諮問に対する答申を行うために、平成18年度から正式開催とは別にミーティングを開催し、市のさまざまな分野の話聞き、議論を重ねてきた。今回、審議会やミーティングで議論されたことをまとめて答申案を作成した。答申案について議論をしていただきたい。答申案について事務局より説明をお願いしたい。

○事務局より答申案の説明をする。答申案は5つの部分からなっている。

まず、「1つの目標 新しい伊勢市に一体感を生み出す」については、今回の受けた諮問の目的を示した。

続いて「2つの基軸 歴史と生活圏」については、市全体が今回のお木曳という伝統を通じて一体感を生み出したことや、この地域はもともと生活圏を同一にしているといった意見を中心にまとめ、これらが一体感醸成の基軸となとした。

「3つの視点 調和・継承・展開」については、諮問の中にあつた「市民参画・市民活動支援」「分権型社会の構築」「コミュニティの形成・地域振興」という視点に触れるとともに、各地区に残していくべきものは残して行かなければならないという意見と、一つのまちとして統一していかなければならないものは統一していくべきであるという意見を中心にまとめた。

「4つの主体 市民、企業、行政、協働」については、合併した4つの役所において、依然として統一されておらず、縦割りの状態があるという意見、まずは行政組織がしっかりと一つになるべきであるという意見、企業の社会貢献が求められているという意見、市民セクターがこれからはまちづくりの中心になっていくという意見を中心に、これらが一体となってまちづくりを進めていく必要があるとまとめた。

「5つの方策」については、上記をふまえて、ミーティングで出された方策をまとめた。(1)の伊勢市駅前については、伊勢市駅前は合併前の旧町村にとってもシンボリックな場所であり、この整備については、新市の共通の想いであるとの意見を中心にまとめた。(2)環境については、地域を超えた関心事として、共通の取組を通じ一体感が醸成されるとの意見からまとめた。(3)産業振興については、まちの活性化のためには、若者が働く場所が不可欠であるとの意見をもとにまとめた。また、伊勢のブ

ランドカを活用することで新市として一体感を醸成していけるとの意見からまとめた。(4) 公共施設の利用については、依然として地域住民間の交流が少ないとの意見や各種団体が一堂に会する場所の必要性などの意見を中心にまとめた。(5) 地域コミュニティを通じた一体感の醸成については、最近、地域コミュニティが元気がないことや、地域コミュニティの活性化が必要であるという意見を中心にまとめた。

◎答申書について

みなさんの意見をもとに、このようにまとめだが、答申書の体裁も含め意見をいただきたい

◇今までの議論で交わされた意見が入っていると思う。

◇これで良いと思う。

◇答申にもあるが、伝統産業が発展して行ってほしいと思っている。

◇この答申書は、市長が参考にしていくものか？

○市長が今後の市政運営に際し、参考にしていくものである。

◇きれいにまとまってはいるが、この答申では時代の危機感が示されていない。そもそもなぜ合併をする必要があったのか、単独ではやっていけない背景がまったく書かれていない。もっと危機感を出した方がいい。危機感の裏側にあるものが見えてこない。

◇自分たちの考えをもって、力を出しながら活力を行政に向けていく必要がある。

◇前にも言ったが、2年が経過したのに4つの地域が別々に審議会を開催している。個性がぶつかり合うことで一体感ができる。地区ごとに集まるのをやめて一つになってはどうか？

◇漠然としている。市民目線からの答申書になってないのでは？意欲的な市民の姿を書いた方がよい。まちづくりの主体は市民であることを書くべきである。

◇良いことばかりじゃないということも含めて答申すべき。

◇事業の実施を通じて一体感が生まれる。レジ袋を使わないようにする事業で一体感を感じた。行政が事業を通じて市民を動かすことが必要。

◎今までのことをまとめると、合併の背景等や危機感を示す文章を前段に示し、「4つの主体」の部分に市民主体のまちづくりに関する記載をすること、一体感の醸成にはぶつかり合うことも必要なことに関して修正をすることとし、会長と副会長で相談しまとめたい。また、具体的アイデアを答申書につける

ことでより具体的になるとおもうので、委員の皆さんで考えていただきたい。それで良いか？

◇（一同了承）

◎完成した答申書については、事務局から委員の皆さんに送付していただくこととする。また、具体的なアイデアについて12月中に事務局あてに書面やFAX、メール等で提出をお願いする。一人3つくらいは考えていただきたい。

2 市長に対する答申の方法について

◎答申については、第3回の地域審議会において、市長に来ていただき答申後に懇談をする方法があるかどうか？

◇是非市長に来てもらいたい。

◎それでは第3回については市長に来ていただき答申することとしたい。

※第3回の開催については2月に開催することとし、2/12、2/13、2/18で市長の日程調整を行うこととした。

以上